

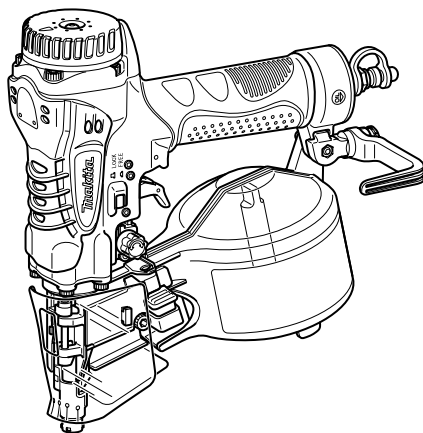
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

高圧エア釘打

モデル AN510H



このたびは**高圧エア釘打**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。






主要機能

| 主要機能 | モデル |
|---------|--|
| | AN510H |
| 使用空気圧力 | 0.98 ~ 2.26MPa (10 ~ 23kgf/cm ²) |
| 使用釘 | ワイヤ釘 27・32・38・45・50mm シート釘 25・32・38・45・50mm |
| 釘装てん数 | ワイヤ釘：200、400本(1巻) シート釘 200本(1巻) |
| 質量 | 1.3kg |
| 機体寸法 | 長さ 260mm × 幅 111mm × 高さ 255mm |
| 使用ホース内径 | φ5.0mm 以上 |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPB069-3

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本機の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は0.98～2.26 MPa（10～23 kgf/cm²）の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. カバーは、はずさないでください。
 - ・ はずすと釘の連結片や打ち損じの釘が飛散し、事故の原因になります。
10. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
11. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
12. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。

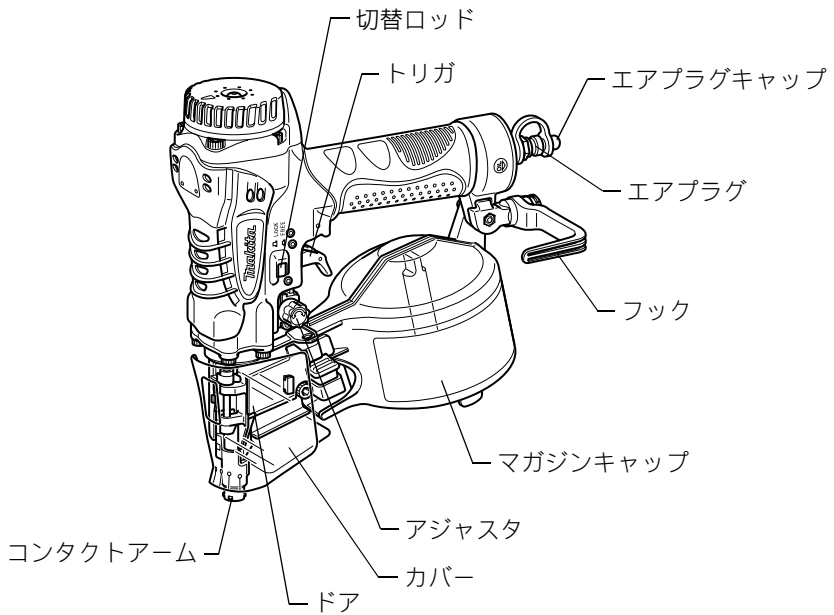
⚠ 警告

13. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じの釘や釘の連結片などがあたりけがをする原因となります。
14. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ 釘が突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
15. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかけたりしたとき、事故の原因になります。
16. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
18. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
19. 次の場合は、トリガをロックしエアホースを本機からはずしてください。
 - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本機を持って移動する場合。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 裾や袖口の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本機及びコンプレッサは、空気充てんのまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 油さし (タービン油)
- ・ プラスチックケース
- ・ ボードアダプタ
- ・ フロアアダプタ

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。

ワイヤ釘

| 種類 | 材質 | 頭径 (mm) | 長さ (mm) | 用途 | 部品番号 |
|------|-------|------------|------------|------|---------|
| スムーズ | 鉄 | 5.0 | 32 | 一般木材 | F-10014 |
| | | | 38 | | F-10027 |
| | | | 45 | | F-10030 |
| | | | 50 | | F-10043 |
| スクリュ | 鉄 | 5.0 | 32 | 一般木材 | F-10715 |
| | | | 38 | | F-10294 |
| | | | 45 | | F-10300 |
| | | | 50 | | F-10313 |
| | ステンレス | 5.0 | 38 | フロア | F-10474 |
| | 鉄 | 4.2 | 38 | | F-10384 |
| 45 | | | F-10397 | | |
| 50 | | | F-10403 | | |
| スムーズ | 鉄 | 5.0 | 32 | 一般木材 | F-10593 |
| | | | 38 | | F-10609 |
| | | | 45 | | F-10612 |
| | | | 50 | | F-10625 |
| リング | ステンレス | 5.0 | 38 | 外装 | F-10326 |
| | | | 45 | | F-10339 |
| | | | 50 | | F-10342 |

別販売品のご紹介

シート釘 (ナローシート)

| 種類 | 材質 | 頭径 (mm) | 長さ (mm) | 用途 | 部品番号 |
|------|----|------------|------------|-----|---------|
| スクリュ | 鉄 | 4.5 | 25 | ボード | F-50018 |
| | | 4.8 | 32 | | F-50021 |
| | | 4.5 | 25 | | F-50034 |
| | | 4.8 | 32 | | F-50047 |
| | | 4.8 | 38 | | F-50050 |
| | | 4.5 | 25 | | F-50063 |
| | | 4.8 | 32 | | F-50076 |
| | | 4.8 | 38 | | F-50089 |
| | | 3.4 | 38 | | フロア |

使い方

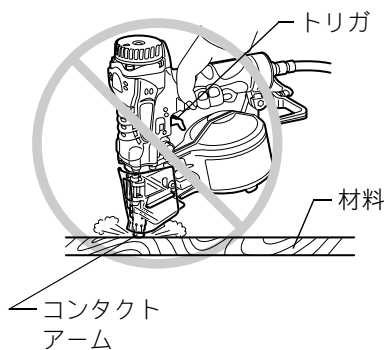
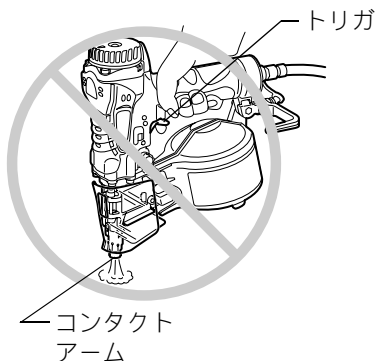
安全装置の確認

⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

・ そのまま使用すると事故の原因になります。

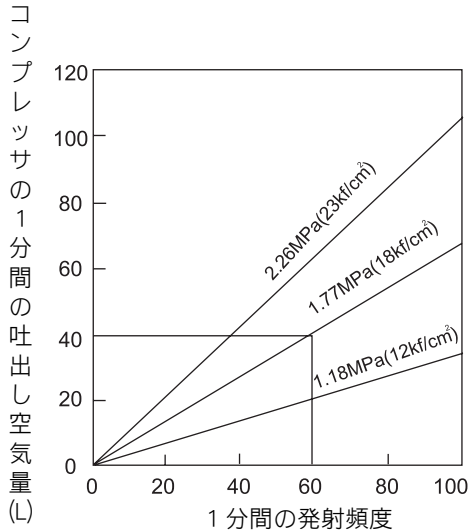
- ・ 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。
 1. 作業にはいる前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
 2. 本機にエアホースを接続します。
 3. まずトリガだけを引いてください。次にトリガから指を離しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
 4. 上記3の操作で本機が作動する場合は安全装置が異常です。



使い方

コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は図を参考にしてください。
- ・ 図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 1.77MPa (18.0kgf/cm²) で発射頻度が 1 分間で約 60 回ですと、吐出し空気量 40L/min 以上のコンプレッサが必要です。



エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※ 内径 5mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

- ・ 釘の発射頻度にくらべエアコンプレッサの吐出し空気量が少ない場合や、エアホースの内径が細かい、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

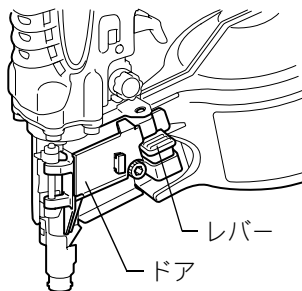
使い方

釘の入れ方

⚠ 警告

釘を装てんする際は、必ずトリガをロックしてホースをはずしてください。

- ・ トリガをロックしてエアホースをはずします。
- ・ レバーを押しながら、ドアを開きます。

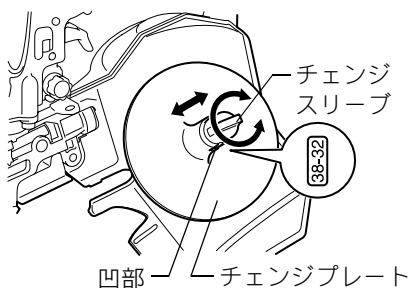


⚠ 注意

必ず使用する釘の長さに合わせて、チェンジプレートの高さを調整してください。

- ・ 不適正な位置で使用すると釘送り不良の原因となります。

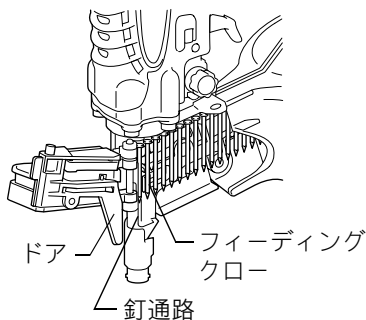
- ・ 使用する釘の長さに合わせて、チェンジプレートの高さを調整します。チェンジスリーブを指で回すと、チェンジプレートの高さが上下に動きます。



- ・ 凹部が使用する釘の長さに合うように調整してください。釘をチェンジプレートに乗せ、先頭の釘をドライバガイドまで引き出し、マガジンキャップを閉めます。

- ・ 先頭の釘を釘通路まで完全に入れます。その際、フィーディングクロー(釘送り爪)に2本目の釘が完全にセットされている事を確認してください。

- ・ レバーがしっかり止まるまで、ゆっくりとドアを閉じます。



使い方

単発・連続打ちの切替機構

「単発打ち」方法

- ・ 単発打ちとは、打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当て、トリガを引く操作で釘を1本ずつ打つ方法です。主に仕上げを重視する場合や狙った所に打つ場合に適しています。
- ・ 切替ロッドを「FREE」の位置にします。
 - ①打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てます。
 - ②トリガを引きます。

「連続打ち」方法

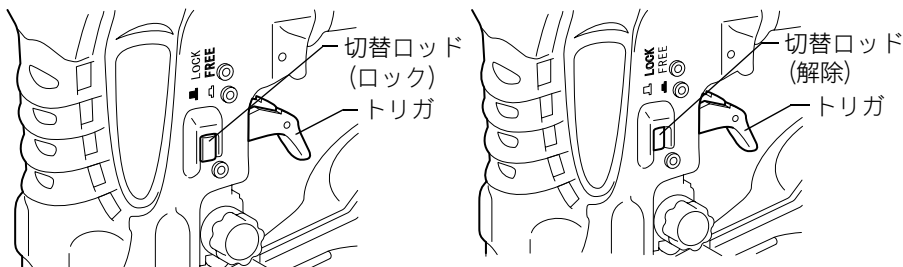
- ・ 連続打ちとは、トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てる操作を繰り返すことで、連続的に釘を打つ方法です。主に床、壁、屋根などの下地打ちの場合に適しています。
- ・ 切替ロッドを「FREE」の位置にします。
 - ①トリガを引きます。
 - ②トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てれば、連続打ちができます。

注

- ・ 単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打ち込み対象物に押し当てても釘は発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったん離してから連続打ちの操作を行ってください。

トリガロックをロックする方法

- ・ 本機には釘打ち作業をしていないとき、誤った操作による事故を防ぐために、トリガロック機構を装備しています。トリガロックとは、トリガをロックし、発射しない状態にする機構です。
- ・ 切替ロッドを「LOCK」の位置にすると、トリガが固定されます。
- ・ 釘を打つときは、ロックレバーを「FREE」の位置にしてください。作業以外にはトリガをロックして、エアホースをはずしてください。



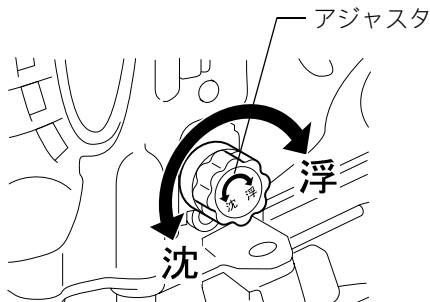
使い方

アジャスタ（打込み深さ調整）の操作方法

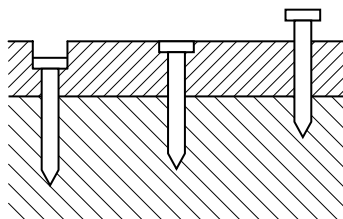
⚠ 警告

打込み調整の際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ 本機は釘の打込み深さを調整する、アジャスタを装備しています。
- ・ アジャスタを回転させて、打込み深さを調整してください。打込み調整幅は6mmです。（1回転で約0.8mmの調整ができます。）



沈みすぎ (浮側へ回す) 適正 浮きすぎ (沈側へ回す)



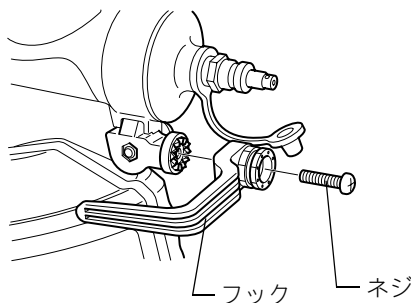
フックの使い方

⚠ 警告

フックの位置を変える場合や、フック使用の際は必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

フックを腰のベルトなどにかけないでください。

- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。
- ・ フックは本機を一時引っかけておくのに便利です。
- ・ 本機は、フックの取付位置を変更できます。
- ・ フックを取り付けているネジをはずし、フックの位置を変更して、ネジを締め直してください。



使い方

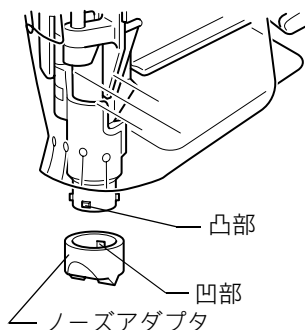
ボードアダプタ・フロアアダプタについて

⚠ 警告

ボードアダプタ・フロアアダプタ脱着の際は必ずトリガをロックしてエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ 石こうボードやサイディングなど表面を傷つけやすい材料に釘打ち作業するときはボードアダプタを、フロア材のさね打ち作業をするときはフロアアダプタを取り付けてください。出荷時ボードアダプタはコンタクトアームカバーに取り付けてあります。
- ・ 取りはずしが固いときは、マイナスドライバなどを使ってはずしてください。

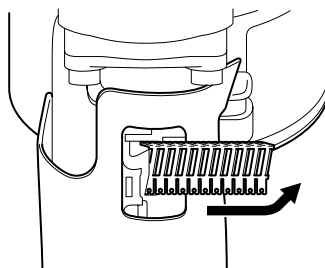


連結シートの切り方

⚠ 警告

連結シートを切る際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ シート連結釘を使用していると、ドライバガイドより連結シートが出てきます。
- ・ 出てきた連結シートは矢印の方向に引きちぎってください。



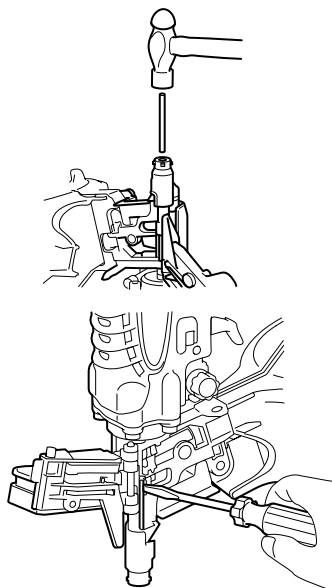
使い方

釘詰まりの直し方

⚠ 警告

釘詰まりを直す際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ トリガをロックして、エアホースをはずします。
- ・ ドアを開け、装てんされている連結釘を抜き取ります。
- ・ 射出口に釘の頭径位のポンチ・鉄棒を差し込み、ハンマで徐々に叩いて下さい。一度に叩くと、ポンチ（鉄棒）が挟まり、取れなくなる場合があります。
- ・ ドライバガイドの内部に詰まった釘をマイナスドライバー等で取り除きます。
- ・ 釘を除去した後、ドライバが釘通路に出ていない事を確認してください。（出ていた場合、棒で押し込めば、奥に入ります。）
- ・ 除去作業が完了したら、再度、釘を装てんしてください。



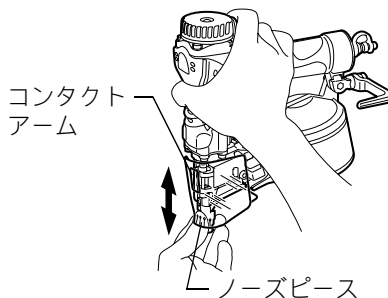
使い方

ノーズピースの交換

⚠ 警告

ノーズピースの交換の際は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

- ・ ノーズピースの先端をつまみ、引っ張って抜き取ります。
- ・ 交換するノーズピースをドライバガイドとコンタクトアームの接続部に確実に奥まで挿入します。



エア圧力の目安と調整方法

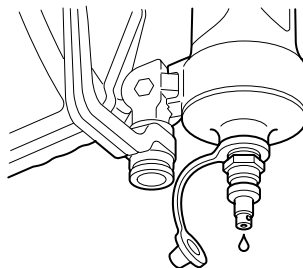
- ・ 下表を目安にエア圧力を調整してください。
- ・ 打ち込み深さ調整を沈み方向いっぱい調整します。
- ・ 試し打ちを行い、釘が沈みすぎるようでしたらアジャスタを浮き方向に調整します。これで浮いてしまうようでしたら、エア圧力を高めに調整してください。

| 用途 | 使用エア圧力 |
|------------------|-------------------------------------|
| 木下地打ち | 1.77MPa (18kgf/cm ²) |
| 石コウボード、 内装材打ち | 0.98MPa (10kgf/cm ²) |
| フロア材打ち | 1.57MPa (16kgf/cm ²) |

保守・点検について

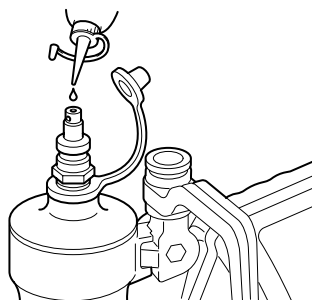
①水抜きを行う

本機のエアプラグをしばらく下に向け、本機内部に残っている水分をできるだけ除去してください。



②オイルを注入する

本製品に付属している油さし（タービン油 JIS2 種 ISOVG32）で 2～3 滴（約 1 cc）エアプラグより注油してください。指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

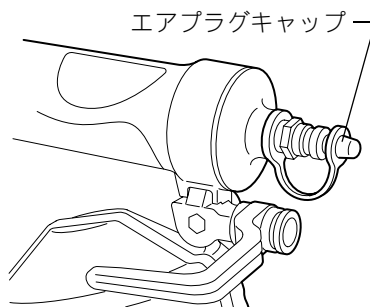


③本機の清掃

本機が、埃・木屑・砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

④エアプラグキャップの使用

本機を使用しない時は、機械内部に異物（ゴミ・埃）が入らないように、エアプラグキャップを装着してください。



⑤作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 |
|----------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店 | (011) (783) 8141 | 足立営業所 | (03) (3899) 5855 | 東大阪営業所 | (06) (6746) 7531 |
| 札幌営業所 | (011) (783) 8141 | 大田営業所 | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 旭川営業所 | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所 | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所 | (0725) (46) 6611 |
| 釧路営業所 | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所 | (042) (384) 8411 | 奈良営業所 | (0742) (61) 6484 |
| 函館営業所 | (0138) (49) 9273 | 立川営業所 | (042) (542) 1201 | 橿原営業所 | (0744) (22) 2061 |
| 苫小牧営業所 | (0144) (68) 2100 | 横浜支店 | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所 | (073) (471) 4585 |
| 帯広営業所 | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所 | (045) (472) 4711 | 田辺営業所 | (0739) (25) 1027 |
| 北見営業所 | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所 | (044) (811) 6167 | 沖繩営業所 | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店 | (022) (284) 3201 | 平塚営業所 | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店 | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所 | (022) (284) 3201 | 相模原営業所 | (042) (757) 2501 | 三木営業所 | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所 | (0229) (24) 0698 | 湘南営業所 | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所 | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所 | (017) (764) 4466 | 静岡支店 | (054) (281) 1555 | 神戸営業所 | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所 | (0178) (43) 3321 | 静岡営業所 | (054) (281) 1555 | 姫路営業所 | (079) (281) 0204 |
| 盛岡営業所 | (019) (635) 6221 | 沼津営業所 | (055) (923) 7811 | 広島支店 | (082) (293) 2231 |
| 水沢営業所 | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所 | (053) (464) 3016 | 広島営業所 | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所 | (024) (932) 0218 | 甲府営業所 | (055) (276) 7212 | 福山営業所 | (084) (923) 0960 |
| いわき営業所 | (0246) (23) 6061 | 金沢支店 | (076) (249) 5701 | 三原営業所 | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店 | (025) (247) 5356 | 金沢営業所 | (076) (249) 5701 | 岡山営業所 | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所 | (025) (247) 5356 | 七尾営業所 | (0767) (52) 3533 | 宇部営業所 | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所 | (0258) (30) 5530 | 富山営業所 | (076) (451) 6260 | 徳山営業所 | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所 | (023) (643) 5225 | 高岡営業所 | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所 | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所 | (0234) (26) 3551 | 福井営業所 | (0776) (35) 1911 | 松江営業所 | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所 | (018) (863) 5205 | 岐阜支店 | (058) (274) 1315 | 高松支店 | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮支店 | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所 | (058) (274) 1315 | 高松営業所 | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮営業所 | (028) (634) 5295 | 多治見営業所 | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所 | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所 | (0285) (25) 5559 | 松本営業所 | (0263) (25) 4696 | 松山営業所 | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所 | (029) (248) 2033 | 長野営業所 | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所 | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所 | (029) (821) 6086 | 上田営業所 | (0268) (22) 6362 | 高知営業所 | (088) (884) 7811 |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 飯田営業所 | (0265) (24) 1636 | 福岡支店 | (092) (411) 9201 |
| 埼玉支店 | (048) (777) 4801 | 名古屋支店 | (052) (571) 6451 | 福岡営業所 | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所 | (052) (571) 6451 | 北九州営業所 | (093) (551) 3481 |
| 川越営業所 | (049) (222) 2512 | 一宮営業所 | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所 | (0948) (26) 3361 |
| 熊谷営業所 | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所 | (0942) (43) 2441 |
| 越谷営業所 | (0489) (76) 6155 | 知多営業所 | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所 | (0952) (30) 6603 |
| 前橋営業所 | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所 | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所 | (095) (882) 6112 |
| 高崎営業所 | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所 | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所 | (0956) (33) 4991 |
| 両毛営業所 | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所 | (059) (351) 0727 | 熊本支店 | (096) (389) 4300 |
| 千葉支店 | (043) (231) 5521 | 津営業所 | (059) (232) 2446 | 熊本営業所 | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所 | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所 | (0596) (36) 3210 | 八代営業所 | (0965) (43) 1000 |
| 市川営業所 | (047) (328) 1554 | 京都支店 | (075) (621) 1135 | 大分営業所 | (097) (567) 3320 |
| 成田営業所 | (0476) (73) 8101 | 京都営業所 | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所 | (0985) (26) 1236 |
| 木更津営業所 | (0438) (23) 2908 | 福知山営業所 | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所 | (099) (267) 5234 |
| 柏営業所 | (04) (7175) 0411 | 大津営業所 | (077) (545) 5594 | 沖繩営業所 | 大阪支店の欄をご覧ください。 |
| 東京支店 | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所 | (0749) (22) 6184 | | |
| 東京営業所 | (03) (3816) 1141 | 大阪支店 | (06) (6351) 8771 | | |
| 中野営業所 | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所 | (06) (6351) 8771 | | |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882289-0